

## シグマ研究委員会

### 昭和57年度 第5回運営委員会議事録

日 時 昭和57年12月10日(金) 13:30～17:30

場 所 原研本部第7会議室

出席者 原田(委員長, 原研)

白方(動燃), 関(雄)(FBEC), 中嶋(法大), 山本(FBEC),  
松浦, 田中, 五十嵐, 菊地(原研)

オブザーバ: 村田(NAIG), 西村(和), 松本, 浅見(原研)

#### 配布資料

1. 前回(57.10.21)議事録(案)
2. "Yields and Decay Properties of Fission Products" Meeting
3. WRENDA改訂と関連事項
4. Priority Criteria and Other Information
5. High Priority Nuclear Data Measurement Requirements  
for the Reactor Programme
6. 特殊目的の核データに関する ad-hoc 小委員会の答申書
7. NEANDC Topical Conference

#### 議 事

1. 前回議事録確認

資料1により確認を行った。

2. 事務局報告

- (1) 研究会報告

11月24, 25日に行われた核データ研究会の参加者数, 使用旅費総額等について報告があった。これに対して研究会のためWGの旅費が圧迫されているので, 来年からは旅費の支給方について再検討したらどうかとの意見があった。

- (2) WGの活動と計画の報告についての予告

次回以降2～3回に亘って, 各WGの今年度活動の報告と次年度の計画を検討するため, 各WGリーダーに報告をしてもらうことのアナウンスがあった。次

回は東海にいるグループリーダーに依頼することにした。

### 3. JENDL-2 公開手続き

五十嵐氏から、JENDL-2の公開に関して12月15日東海研の運営会議にかけ、本部及び科技厅の了承をえた後、JENDL-2データをNEAデータバンクとBNLへ送ることが報告された。公開に関して、国内関係では核データニュース、原子力学会誌、物理学会誌等でもアナウンスすることにした。

### 4. 原子力総合シンポジウムのプログラム

五十嵐氏から、廃炉の問題を採り挙げてもらう予定であったが、前回の運営委の直後にプログラムが既に決まっていたことが判ったとの事情説明があった。

また、原田氏から岡本氏（IAEA）の講演が採り挙げられた経緯について説明があった。

### 5. "Yields and Decay Properties of Fission Products" Meeting

五十嵐氏から、この会合についてChrien氏から吉田氏（NAIG）への手紙（資料2）の紹介とともに、吉田氏がこの会合のプログラム委員になっていることが報告された。また、松本氏から補足の説明があった。

### 6. 核融合ブランケットの中性子工学に関する日米セミナー

菊池氏から、原研本部及び東海研で行われた標記の日米セミナーの概要等について説明があった。

### 7. 原子力学会特別会合

1月14日の学会の編集会議に議題等を提出するために討議を行った、討議に先立って五十嵐氏から楢山氏、中沢氏の意見が紹介された。討議の結果、核融合ブランケットの中性子工学に関する日米セミナーのワークショップからの話題を採り挙げることにし、講師は楢山氏と相談の上、出席者のうちから選出すること、座長は朝岡氏に依頼することにした。

### 8. 研究会の反省

村田氏から、実行委員長として問題点や反省点について説明があった。その中で、プログラムを早く決める方が良く、パネル討論では、議論をもつとかみ合わせるために下打合せをしておけばよかった等の話があった。これに対して、予稿集を事前に配布すると尚良かった。2～3年後には国際的なものにしたかどうか、第2日目の後半は早く終了するようになる必要がある。学会誌へ報告文を書いたらどうか等の意見が出た。

討議の結果、今後はプログラムを早く決めるために、研究会の作業を年度初め

にスタートさせることにした。

9. 特殊目的の核データに関する ad-hoc 小委員会報告

西村氏から、資料6の答申案について説明が行われた。現在の答申案及び添付の表は不完全なので本日は中間報告とし、後日に正式報告を行いたいとのことであった。

この報告に関して討議を行い、内容を整理するとともに表を完成させて最終案としてもらうことにした。また、特殊データのスクリーニングを行う際には、利用者の意見も聞いたらどうかとのコメントがあった。

10. WRENDA 81/82 の改訂

五十嵐氏から、WRENDAの改訂作業の概要について資料3を用いて説明があった。その中で、リクエストの募集は今後、WGを経由しての募集を中心にしたという話があった。

また、Priorityの付け方は fission reactor, fusion, safe guards で異なるので提出の際はよく検討して欲しいとの要請とともに資料4の説明があった。High Priority Request List (資料5)についてはNEACRPから再検討するよう指示があったのでWRENDAグループではそのことも含めて検討したとの報告があった。これに関連して、WRENDAグループでのスクリーニングのやり方の是非について議論があった。

11. 第24回 NEANDC会合における Topical Discussion のテーマ

五十嵐氏から、資料7により過去の会合で行われた Topical Discussion のテーマについて説明があり、第24回会合のときのテーマについて討議を行った。その結果、FP核データ及び崩壊熱の評価や測定を採り挙げるのが候補に上り、なお時間をかけて検討することにした。

次回は1月21日(金)に13:30より東海研で行う予定。